

東北地方 1か月予報

(9月13日から10月12日までの天候見通し)

平成15年9月12日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。なお、明日(13日)から明後日(14日)にかけて、前線や台風第14号の影響で曇りや雨の所が多く、荒れた天気になる所もあるでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量と日照時間は平年並でしょう。

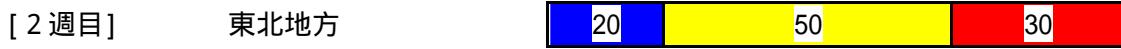
週別の気温は、1週目は高い、2週目は平年並、3~4週目は平年並か高い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 9月13日(土)~10月12日(日)

1週目 : 9月13日(土)~9月19日(金)

2週目 : 9月20日(土)~9月26日(金)

3~4週目 : 9月27日(土)~10月10日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は9月19日

3か月予報:9月25日(木) 14時00分

寒候期予報:9月25日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	17.2	192.2	128.7	19.2	18.0	16.1
新庄	16.4	142.5	108.8	19.0	17.4	15.1
若松	17.3	112.3	115.9	19.8	18.3	16.0
深浦	16.9	158.7	150.8	18.9	17.8	15.7
青森	16.4	104.0	160.4	18.7	17.5	15.2
むつ	15.8	148.7	154.8	17.9	16.7	14.7
八戸	16.4	125.0	151.7	18.5	17.4	15.2
秋田	17.4	154.5	154.1	19.8	18.4	16.2
盛岡	15.8	121.1	135.6	18.2	16.8	14.5
宮古	16.5	195.6	134.5	18.5	17.4	15.4
酒田	18.2	166.9	146.4	20.4	19.1	17.1
山形	17.1	109.1	123.8	19.6	18.1	15.9
仙台	18.2	181.9	127.8	20.2	19.1	17.2
石巻	17.7	147.0	138.5	19.8	18.6	16.6
福島	18.4	150.8	117.7	20.5	19.3	17.3
白河	16.7	177.6	114.1	18.9	17.6	15.6
小名浜	19.2	199.1	130.9	21.2	20.0	18.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.2	83~110	92~108
東北日本海側	-0.5~+0.3	86~113	93~107
東北太平洋側	-0.4~+0.1	83~110	92~110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.4	-0.5~+0.4	-0.6~+0.3
東北日本海側	-0.7~+0.5	-0.6~+0.4	-0.6~+0.4
東北太平洋側	-0.6~+0.4	-0.5~+0.4	-0.5~+0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに3%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年9月12日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(9月13日～10月12日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。なお、明日(13日)から明後日(14日)にかけて、前線や台風第14号の影響で曇りや雨の所が多く、荒れた天気となる所もあるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(9月13日～9月19日)：

明日(13日)から明後日(14日)にかけて、前線や台風第14号の影響で曇りや雨の所が多く、荒れた天気となる所もあるでしょう。その後は高気圧に覆われておおむね晴れる見込みです。

平均気温は高いでしょう。

2週目(9月20日～9月26日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3～4週目(9月27日～10月10日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

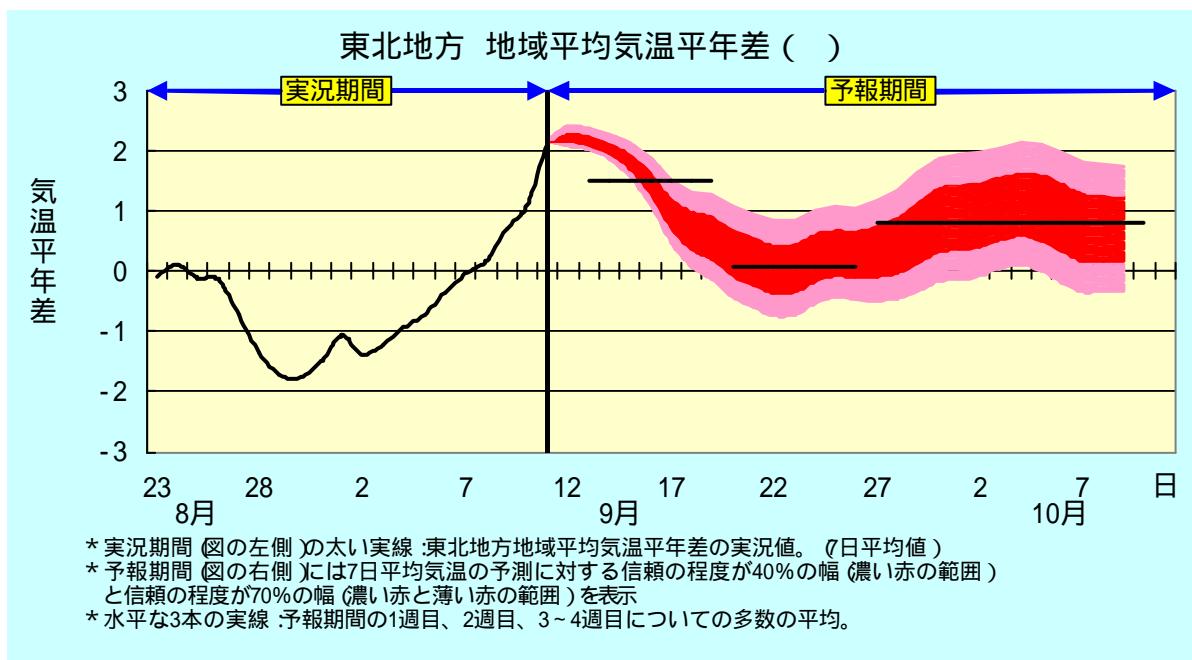
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	13.7日	3.3日	3.4日	7.0日
東北太平洋側	13.7日	2.9日	3.4日	7.4日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「高い」、2週目は「平年並」、3～4週目は「高い」と予測している。予報は、その他の資料から3～4週目を「平年並か高い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

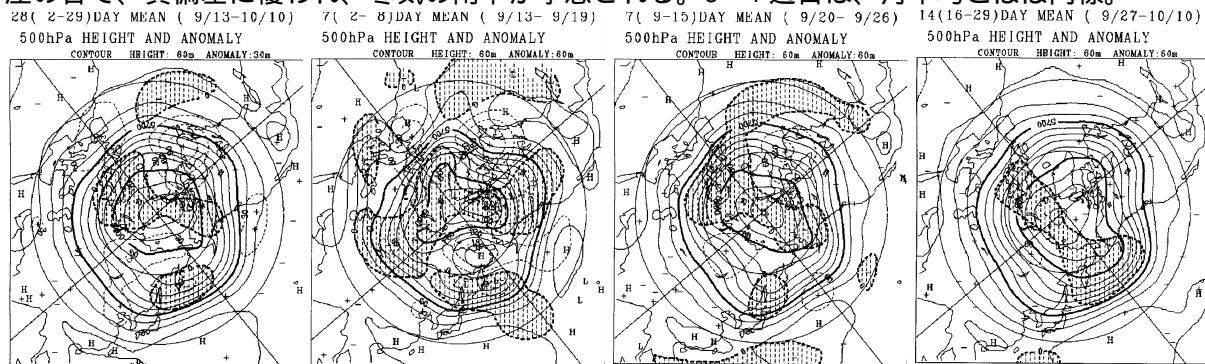


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、偏西風の流れは東西流が卓越しており、天気は数日の周期で変わる見込み。中緯度帯は広く正偏差に覆われる。

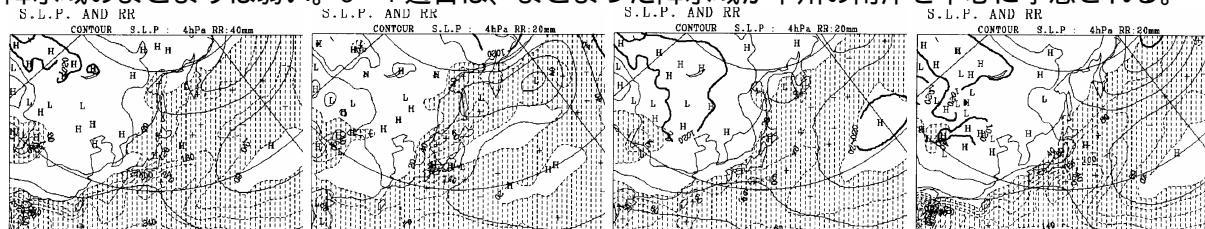
週別に見ると、1週目は、月平均と同様で、太平洋高気圧の勢力が強い。2週目は、北日本は気圧の谷で、負偏差に覆われ、寒気の南下が予想される。3~4週目は、月平均とほぼ同様。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近は東西に伸びる高圧部で、天気は数日の周期で変わる見込み。日本付近に降水域が広がるが、前線に対応すると見られるまとまった降水域は南岸が中心。

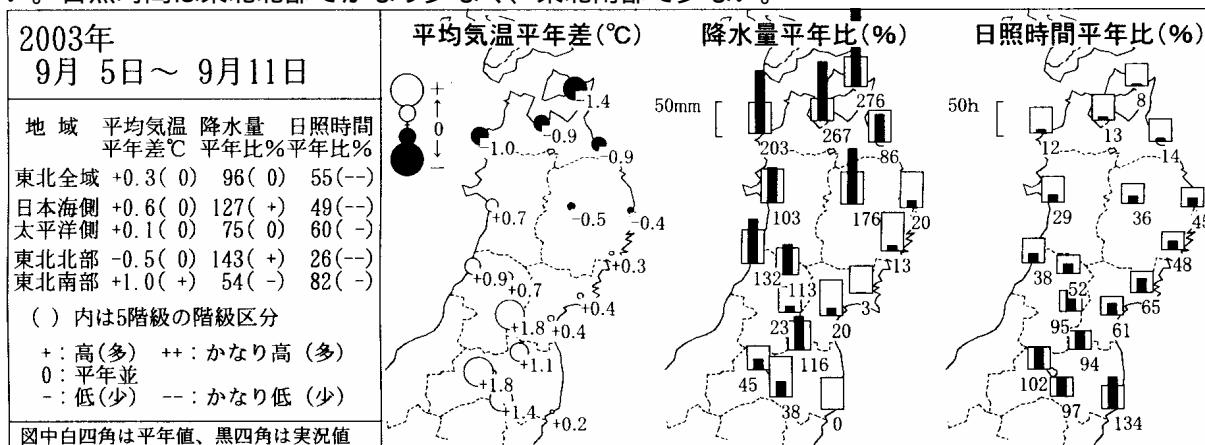
週別に見ると、1週目は、前線や台風第14号の影響で、北日本に降水域が広がる。2週目は、降水域のまとまりは弱い。3~4週目は、まとまった降水域が本州の南岸を中心に予想される。



4. 最近1週間（9月5日～9月11日）の天候の経過

この期間、低気圧や前線の影響を受けやすく、東北北部を中心に曇りや雨の日が多くったが、東北南部では晴れて真夏日となる日もあった。

平均気温は、東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で少ない。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）